

**1時間でできる！** ケース会議  
～インシデント・プロセス法について～



未来を創る、こどもたち。  
未来を育てる、わたしたち。  
～未来への責任～

埼玉県立行田特別支援学校 Apple Teacher  
荒井 勝紀 arai.masanori.3e@spec.ed.jp

こんなこと、ありませんか??

ケース会議がしたい!!



と、思っても、実際にはこんな課題が…

- ▶ 忙しくて時間が取れない。
- ▶ 資料の準備が負担。
- ▶ 事例提供者が批判的になる。
- ▶ 具体的な方策がまとまらない



インシデント・プロセス法

インシデント・プロセス法のメリット

1時間でできる!!



- ▶ 短時間でできます。(およそ1h)
- ▶ 事前の資料準備がほとんど不要です。
- ▶ 事例提供者が自分の取り組みを批判されている  
気になりにくく、みんなで前向きに子どもの  
支援策を考えられます。
- ▶ 主体的に参加しているという意識が持てます。
- ▶ すぐに支援や指導に活かせます。

インシデント・プロセスの大まかな流れ(例)

- ① 状況の説明 (事例提供者による報告) (5分)
- ② 情報の収集 (質疑応答) (10分)
- ③ 個人での検討 (5分)
- ④ グループでの検討 (20分)
- ⑤ 支援策の発表
- ⑥ 事例提供者の感想 (3分)
- ⑦ まとめ (10分)



## 実施方法と留意点 ①

### ①状況の説明（事例提供者による報告）（5分）

- ▶主訴は1点に絞り、具体的に
- ▶ごく簡単に

- 月曜日になると登校をしぶるAさん
- 掃除の時間にトラブルになるBさん
- …に関して、等

- ▶場合によっては会議の最初に時間を設けて  
その場で記入しても可



## 実施方法と留意点 ②

### ②情報の収集（10分）

- ▶1問1答で簡潔に。
- ▶参加者全員が質問する。
- ▶質問には事実のみ簡潔に答える。

#### 【注意点】

- ▶事例提供者のこれまでの取り組みを批判しない。
- ▶他の質問や、質問への回答に対して、  
批判的・否定的な発言をしない。



## 実施方法と留意点 ③

### ③個人での検討（5分）

- ▶得られた情報の中で、かわり方や  
支援策を考える。
- ※別紙のワークシートは、すべて  
埋まらなくても、使用しなくても可

- ▶『明日から、すぐにできる支援』を考える。



誰が、いつ、どこで、どのように

## 実施方法と留意点 ④

### ④グループでの検討（20分）

- ▶グループとして具体的な支援策を  
検討し、記録してまとめる。
- ▶箇条書きやキーワードのみで可
- ▶書くことは目的ではない。  
あくまで補助手段



## 実施方法と留意点 ⑤

### ⑤支援策の発表（2分）

- ▶まとめた記録を提示しながら、  
検討結果を簡潔に発表する。



具体的で、スモールステップになっている支援策か？

## 実施方法と留意点 ⑥

### ⑥事例提供者の感想（3分）

- ▶発表について、事例提供者が感想を述べる。
- ▶『実際に明日からにでもできそう』と  
思える支援策かどうかという視点で

<活用法>

- 個別の指導計画に生かす
- 学校全体での共通理解



## 実施方法と留意点 ⑦

### 事例検討会の際のグランドルール

他の参加者や、事例提供者の  
発言に対して批判的・否定的な  
発言は避けましょう



- ▶事例提供者のこれまでの取り組みを  
批判しない。
- ▶他の質問や、質問への回答に対して、  
批判的・否定的な発言をしない。

## インシデント・プロセス法 まとめ①

- ▶主訴は1点に絞りましょう。
- ▶具体的に考えましょう。 ×気合で ×頑張る
- ▶他の参加者や事例提供者の発言に対して、  
批判的・否定的な発言は避けましょう。
- ▶「すぐにできそうな支援」を挙げましょう。  
【誰が、いつ、どこで、どのように】
- ▶皆で話し合うこと自体がとても貴重な時間です。
- ▶一緒に考えると、児童生徒の全体像が見えてきます。



事例提供者が、  
「事例を提供してよかった！」  
「勇気をもらえた!!」と思える場に

## インシデント・プロセス法 まとめ②

それぞれのプロセスは、  
時間をしっかり区切りましょう。



全体の時間短縮だけでなく、  
時間を区切られているという  
緊張感から良い結果を出せる  
という効果も得られます！

## インシデント・プロセス法 まとめ③

「事例を出して良かった」  
「明日からの実践のヒントをもらえた」  
「学びあえた」  
「気づきがあった」  
…

と思えるような  
ケース会議になると良いですね！！



ご清聴

ありがとうございました

参考資料：令和3年度 特別支援学校初任者研修『専門研修Ⅳ』



未来を創る、こどもたち。  
未来を育てる、わたしたち。  
～未来への責任～



埼玉県立行田特別支援学校  
荒井 勝紀 arai.mosanori.3e@spec.ed.jp

